

福田地区防災士会第11回研修会

2023年3月12日

昨年12月の大雪のため延期していた発電機の使い方研修会を、3月12日の10時から約2時間、福木小学校で行いました。新規に防災士となられた3人、福田地区連合町内会安永邦明会長と福田地区自主防災連絡協議会久保正会長も加わる総勢17名の参加でした。

最初に越智代表から、来賓の紹介と新規加入者3人の防災士の紹介の後、今日の日程の説明と班分けを行い、防災備蓄倉庫に全員で向かいました。

防災備蓄倉庫前に全員そろったところで扉を開けて庫内を確認。発電機、ハロゲン投光器、三脚、コードリール及びリヤカーを取り出し、その場で組立てたりヤカーで運びました。

体育館手前の渡り廊下付近を利用して実施。元消防団の播野さんを講師に研修を行い、班ごとに2, 3人ずつで実際に三脚の組立て、投光器の取付け、コードリールの延長、エンジン始動、片付けを行いました。実際にやってみるとなかなかうまくいかないこともあり、やってみることの大切さを実感した研修でした。研修の終わりに講師から、作業時の手袋と帽子着用の意義についての話があり、各自が安全に配慮した行動の大切さを学びました。

最後は全員で倉庫の片づけを行って記念写真。次回の防災ハイキングの説明を受け解散しました。



研修開始時、講師担当の播野さんからの説明。



防災備蓄倉庫から備品を搬出



リヤカーの組み立て(意外とたいへん)



研修場所へ移動(はじめてのリヤカー)



三脚,ガスボンベ,発電機,投光器,コードリール



発電機などの取り出し



ガスボンベが市から届くのに時間がかかる為
地元で用意しておく必要もあるとの説明も。



この発電機では、ガスボンベの切込みは下^下に合わせるようになっていました。ポンベのセット後はポンペを右に回して固定。オイルは役所の方で定期交換(次回交換は R5 年11月)。



三脚を取り出して立て投光器の取付台を組み込む。投光器を袋から出して、投光器をセットする。取付金具のくぼみをうまく利用してセットする。



コードはリールから出して広げて使う(巻いたままだと加熱しやすく、磁気も発生)



エンジンスイッチを始動位置にし、リコイルスターターを引く。エンジン始動後プラグを差し込む。
プラグを差し込んだ後、スイッチを「運転」にする。 （周波数切り替えスイッチは60Hz）



投光器のコンセントを別の班の組み立て作業
コードリールに差し込み
点灯を確認。（避難所では天井に向ける）

リコイルスターターの引き方指導
手を置く位置や引き方の確認。



ポンベは左側をあとに入れる プラグのアースを出す時
とスムーズに操作できる。 はプラグを回す。



ガスボンベは避難所開設時に区役
所から届く。オイルは定期的に交換。



防災備蓄倉庫に備品を収めた後、リヤカーの解体収納作業に一苦労



最後は全員で記念撮影し、無事終了。おつかれさまでした。

次回(4月23日午前中)は福田公民館から鷹の条山のふもと一帯の防災ハイキングです。

(記責 越智)